

8月30日 - 9月2日（火 - 金）

夏の公開実習「山岳環境保全学演習」

野生生物を対象にしたフィールドワークを体感して、自然環境の保全について学びます。日本アルプスという実際の現場において、初歩の種同定から、フィールドワークの実践、記録から取りまとめまでを一環して実施します。自身が体感し得られたデータから、何が読み取れ、これから私たちにとって何が必要であるかを考えます。

◇期日：平成23年8月30日（火）～9月2日（金）

◇対象：全国の大学生

◇定員：10名程度

◇実習経費：食事、傷害保険代と宿泊費を併せて20,000円、
現地で徴収
集合場所までの旅費は自己負担

◇申込締切：7月20日

◇申込先：〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304
信州大学農学部学務グループ
TEL：0265-77-1354 FAX：0265-77-1313
Email：nishikoma@shinshu-u.ac.jp

◇集合時刻：13時

◇集合場所：信州大学農学部 14番教室

◇実習内容：8/30（火）：ガイダンス 実習内容の紹介、グループの役割分担、フィールド調査の準備
講義 日本アルプスの自然環境と山岳環境の保全について
講義内容は、高山植物の生活史と保護、野生動物の生態と保護管理について
8/31（水）：木曾駒ヶ岳登山とフィールドでの学習
木曾駒ヶ岳登山、高山植物の同定、野生動物の観察、西駒山荘で宿泊
9/1（木）：高山環境でのフィールドワークの実施（信大演習林）
実地踏査の実施、観察した動植物の調査と記録の実施、演習林宿舎で宿泊
9/2（金）フィールドワークの取りまとめと解析
演習林宿舎で調査結果の取りまとめ、解析とグループでのディスカッション
11時30分 農学部正門にて解散

◇単位の認定：本学の協定校から参加する学生は、単位の互換認定があります。

他の国立大学から参加する学生の単位の認定については、お問合せください。

上記以外の公立・私立大学から参加する学生は、単位の認定が可能な場合がありますのでお問合わせください。

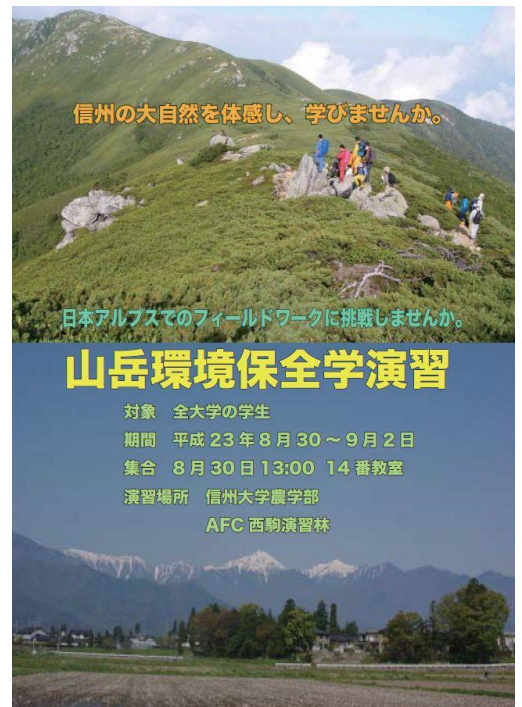
※実習の詳細は、[シラバス](#)をご参照ください。

【講師紹介】

泉山 茂之（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 教授）

研究分野：動物生態学

中村 寛志（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 教授）



研究分野：昆虫生態学，環境評価（キーワード：チョウ類群集，オオルリシジミ，絶滅危惧種，生物多様性，多様度指数，中部山岳域，集合性昆虫，高山チョウ，垂直分布）

加藤 正人（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 教授）

研究分野：森林科学（キーワード：森林計測，計画，リモートセンシング，GIS，森林情報）

荒瀬 輝夫（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 准教授）

研究分野：作物学

小林 元（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 准教授）

研究分野：樹木生理生態学，造林学

【問合せ・申込み】

信州大学 農学部 学務グループ 奥原，大工原

〒399 - 4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部学務グループ

TEL : 0265 - 77 - 1354 FAX : 0265 - 77 - 1313

Email : nishikoma@shinshu-u.ac.jp

【集合場所までの交通について】

※信州大学農学部への交通案内は，[こちら](#)をご参照ください。

※実習場所である信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター西駒ステーションの情報は[こちら](#)をご参照ください。

※信州大学農学部周辺の宿泊施設については，[こちら](#)をご参照ください。